

Hyphen解明にむけて (II)

大賀 信孝

4 hyphenの用法

hyphenの用法は大きく分けて二つある。一つは複合語に関連しない用法であり、一つは複合語に関連する用法である。もちろん「hyphenの用法」というテーマを設定した以上、最終的には用法全般について述べるのだが、順序的には複合語と関連しないhyphenの用法の方から最初に述べることとし、次にそうした用法について論述してゆく。

(a) 複合語と関連しないhyphenの用法

(i) 行末での語分割

さてこの(a)項目に入るhyphenの用法であるがそれらは複数存在する。そうした中まず最初は、

One use of the hyphen is to mark the division of a word at the end of a line.⁽¹⁾

と述べられているhyphenの用法について論ずることとする。というのもこの用法の実例は圧倒的に多く、新聞・雑誌のいずれのページでも見られ、数の面で際立っているからである。そのような理由より「行末での語分割」に関するhyphenの用法にまず始めに言及することとする。

そこでこの用法の解説ということになるが、それはすでに上に引用したとおりである。次に実例はというと、多数ある実例の内二つ例をあげれば次のようである。

4.1 However, India's election commission may seek more time to organise the polling machinery.

(*The Guardian Weekly*, May 2, 1999) (p. 3)

4.2 During 1997, two new Japanese fac-

tories and one South Korean plant were opened in Catalonia.

(*Far Eastern Economic Review*, December 11, 1997) (p.49)

つまり4.1ではcom-mission, 4.2ではfac-toriesというように、行末で語を分割するためにhyphenは用いられているのである。このような具合である。結果、行末での語分割にhyphenが用いられることは明らかである。

(ii) 語の文字への分解

稀なケースではあるけれどもこうした場合hyphenが使用される。それは以下の解説のとおりである。

Use a hyphen to separate the letters of a spelled word.

In front of the children she asked me if I had brought the c-a-n-d-y.⁽²⁾

(iii) 語のsyllableへの分解

このような語のsyllableへの分解は

A hyphen is used to indicate the following:

.....

(2) The division of a word into syllables.⁽³⁾

と解説され、実例も次のようなものがある。

4.3 ...CAN YOU SPELL "DIV-I-DEND" ?

(*The Bulletin*, May 3, 1994) (p.77)

このことより語をsyllableに分解する折hyphenが用いられることが分かる。

(iv) family nameの表示

アルファベットで表記する名前においては、family nameが二語より成っている場合がある。こうした場合、family nameであるということを明確にするため二語をhyphenで繋ぐ。このことは

The hyphen is regularly used in writing so-called ‘double-barrelled’ names: *José-María Olazábal, Jean-Paul Gaultier, Claude Lévi-Strauss, Philip Johnson-Laird*.⁽⁴⁾

と解説されているとおりであり。なおこうしたhyphenの用法の実例は多く存在する。そうした中二例をあげると以下のようなものである。

4.4 The manager of the Asian region for Spain’s biggest banking group, Banco Santander, Ho Teck-Cheong says: “We are trying to refocus more on wholesale investment business rather than being a purely commercial bank, and we are positioning ourselves as a bridge into Latin America,” a region where Santander has a very strong presence.

(*Far Eastern Economic Review*, December 11, 1997) (p.46)

4.5 The revelations, less than two months before a general election, could sink the chances of the prime minister, Jean-Luc Dehaene, whose government has been severely damaged by the 1996 scandal and whose “complacency” is strongly attacked by Mr Verwilghen.

(*The Guardian Weekly*, May 2, 1999) (p.5)

つまり4.4ではHo Teck-Cheong, 4.5ではJean-Luc Dehaeneと、それぞれにおいてfamily nameを明示するためhyphenが用いられているのである。このことより、family nameの表示にhyphenが使用される場合があることは明らかである。

(v) “missing element” の表示

これについては

The sign <-> has several uses. It is used to

.....

(iii) indicate a missing or implied element (as in *over- and underpayment*).⁽⁵⁾

と述べられているとおりであり、実例としては次のようなものがある。

4.6 They are questioning omniscient fiction-and history-writing.

[*The Economist* (The Economist Review), June 15, 1996) (p.15)

つまりここではfiction-writingと記すべきところをfiction-と記すことで,hyphenが省略された語の存在を示しているのである。よって“missing element”の表示にhyphenが用いられるのは明白である。以上のような具合である。このように,複合語と関連しないhyphenの用法は複数存在するのである。

さてこれで(a)については論の展開が終了した。次は(b)―複合語と関連するhyphenの用法―である。

(b) 複合語におけるhyphenの用法

ところでここではhyphenによって語が繋がってできる複合語というものを考えるが,それは2語が繋がってできるものもあれば,3つ以上の語が繋がってできるものもある。複合語の構成語数によって種類分けすれば,5種類(2語構成,3語構成,4語構成,5語構成,7語構成)の複合語の存在はsourceより少なくとも確認できる。⁽⁶⁾ hyphen付き複合語といってもそれなりに種類があるのがこれで分かるが,でもこうした5種類のhyphen付き複合語は同等の重要性をもつものではない。それぞれのタイプの例数に違いが見られ,例数が多いタイプは重要度の高さを示し,例数が少ないタイプは重要度の低さを示すからである。つまり2語から成るhyphen付き複合語は全体の90%強を占め重要度が高く,3語以上より成るhyphen付き複合語は合計しても全体の10%弱で重要度が低いのである。そのためhyphenと複合語の関連を論ずる場合,重要度の高いものより始めるのが妥当と考えられ,まず2語より成るhyphen付き複合語から論ずることにする。さてそこでこの2語より成るhyphen付き複合語について考えるのだが,ところでこれは語である以上,文中で名詞として働いたり形容詞その他として働いたりする。いわゆる普通の単語とその点は同じである。そのため品詞としての働きに違いが生じることより,こうした複合語全部をひとまとめにして取り扱うのは無理が生じ,取り扱いの際は文中での品詞としての働きを基にし区分けして取り扱う必要性が生まれる。

(i) 2語より成る複合名詞でのhyphenの用法について

そこで,ここではまず名詞として文中で機能しているhyphen付き複合語に焦点をあてることにする。そしてその複合名詞を構成する2語の品詞は何かを明瞭にし,hyphenはどのような品詞を連結するために用いられるかを観察することにする。これが用法分析の内容である。⁽⁷⁾用法分析の方向はこれで明確になった。

次に具体的な分析に移る。その際sourceを利用して、逐一複合名詞にあたって、品詞のどのような繋がりにはhyphenが用いられているか具体的に調べてゆく。そうすると以下のような品詞連結にhyphenが用いられていることが分かる。

- | | | |
|--------------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <1> noun+noun | <2> noun+adjective | <3> noun+adverb |
| <4> noun+preposition | <5> noun+gerund | <6> noun+suffix |
| <7> adjective+noun | <8> adjective+gerund | <9> adjective+abbreviation |
| <10> verb+noun | <11> verb+verb | <12> verb+adverb |
| <13> verb+preposition | <14> verb+pronoun | <15> adverb+adjective |
| <16> adverb+verb | <17> adverb+gerund | <18> preposition+noun |
| <19> prefix+noun | <20> prefix+abbreviation | <21> prefix+gerund |
| <22> gerund+noun | <23> numeral+numeral | |
| <24> auxiliary+past participle | <25> present participle+noun | |
| <26> past participle+adverb | | |

noun+nounから始まって上記のように個々に記してみると、タイプの的には26という数にのぼる。かなりの数である。品詞連結にhyphenはさまざまに関与しているのがこれで形式的には分かるが、今後はこうしたそれぞれのタイプに解説を加えつつ、実例をあげながら論を進めていきたい。

<1> noun+noun

このタイプの実例は多く、複合名詞の26あるタイプの中で実例数は最多である。⁽⁸⁾ “...it has the full functionality of a color copier. (*U.S. News & World Report*, January 15, 1996) (p.5) のようにnoun phrase中でnounとnounが繋がった形はけっこう多く見かけるが、こうした形態が基になって、nounにnounを連結して複合名詞は違和感なく量産されたものと思われる。

具体例としては次のようなものがある。

4.7 He conceded he could not give assurances for whistle-blowers.

(*The Guardian Weekly*, February 8, 1998) (p.9)

<2> noun+adjective

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.8 The United Nations secretary-general, Kofi Annan, said there had been credible reports of widespread summary excutions of Hazara civilians.
(*The Guardian Weekly*, February 7, 2001) (p.4)

<3> noun+adverb

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.9 This is evident at Sydney's Footbridge Theatre (and other capital city theatres later) before curtain-up on *Elvis—The Musical*.
(*The Bulletin*, May 3, 1994) (p.79)

<4> noun+preposition

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.10 According to Rennie, when there is nothing to look at, often they want to hassle an unfortunate passer-by or the police.
(*The Bulletin*, May 3, 1994) (p.26)

<5> noun+gerund

このタイプの実例は多くもなく少なくもない。いわば多と少の間である。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.11 Transfield provides project development, integration and delivery, ship-building and construction, equipment supply, maintenance and operation services to the defence, marine, power, process and infrastructure markets.
(*Asian Business Review*, August, 1995) (p.40)

<6> noun+suffix

このタイプの実例は少ない。prefixを含む複合名詞の実例が多いのとは対照的である。なおこのタイプの実例が少ないのは、suffixを含む複合語はsolid形式のものが多いからと思われる。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.12 Absolutely everybody's off to Zurich or Split or Nimes for one of the Bosnia angst-fests. (*The Bulletin*, May 3, 1994) (p.44)

<7> adjective+noun

このタイプの実例は多くもなければ少なくもない。いわば多と少の間である。なお品詞的な繋がりという点からこのタイプについていえば、adjective→nounという順序でadjectiveとnounが繋がるのはごく自然で、noun phrase中ではよく見かける。そのためこのような事情が背景となって、このタイプの複合語の実例がある程度の数にのぼっているものと思われる。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.13 Said captain Lamarr Tsufura, who troubleshoots computer problems during the off-season: "We had a disastrous game on opening day."
(*Time*, September 27, 1993) (p.4)

<8> adjective+gerund

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.14 It issues a declaration calling on the world's governments "to foresee and prevent potential man-made changes in climate that might be adverse to the well-being of humanity."
(*International Herald Tribune*, December 1, 1997) (p.18)

<9> adjective+abbreviation

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.15 Since then, the sectoral moves relative to the All-Ords * have been as follows: Property Trusts 6.9%, Food & Household Goods 5.8%, Engineering 4.3%,.... (*The Bulletin*, May 3, 1994) (p.74)

*これはAll-Ordinariesの省略形である。

<10> verb+noun

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.16 Mr Zyuganov has close links to a think-tank known as Spiritual Heritage which led the way in producing the very climate of ideas that Mr Yanov predicted.

[*The Economist* (The Economist Review), June 15, 1996] (p.6)

<11> verb+verb

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.17 But as a purveyor of make-believe, the dream factory remains unexcelled.

(*The Economist*, June 15, 1996) (p.92)

<12> verb+adverb

このタイプの実例は多くもなければ少なくもない。いわば多と少の間である。なおphrasal verbを基にして出来上がっているこうしたタイプの複合語は、今後増加する傾向にあると考えられる。

具体例をあげれば次のようである。

- 4.18 Belgians have long suspected an official cover-up of his activities, partly because of the sheer ineptitude of the police investigation and because Dutroux was released early after a previous conviction for sex offences.

(*The Guardian Weekly*, May 2, 1999) (p.5)

<13> verb+preposition

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.19 Ten years later, we are still waiting for proof that a genuine policy has been thought out which rises above the private interests of questionable go-betweens.

(*The Guardian Weekly*, February 7, 2001) (p.25)

<14> verb+pronoun

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.20 A mere thank-you to his admiring biographer was not enough for N.T. Ramarao, 70, India's matinee idol turned politico.

(*Time*, September 27, 1993) (p.56)

<15> adverb+adjective

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.21 In return for Britain culling more cows, the vets give the all-clear for an eventual lifting of the ban on British beef exports.

(*The Economist*, June 15, 1996) (p.55)

<16> adverb+verb

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.22 Saddled with outmoded procurement procedures, turf battles and poor management, Washington has gone from being the driving force behind a nascent computer industry to a technological also-ran.

(*U.S. News & World Report*, January 15, 1996) (p.45)

<17> adverb+gerund

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.23 The conference will also focus on discounting claims of over-packaging, drawing comparisons with Europe and Japan, innovation in design and overseas trends, and developments in materials science in the next century. (*Asian Business Review*, August 1995) (p.49)

<18> preposition+noun

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.24 The other offers the near-certainty of a return to the surly, squalid isolation of the past. (*The Economist*, June 15, 1996) (p.11)

<19> prefix+noun

このタイプの実例は多い。新語をつくる場合、既存の語にprefixを加えて新語をつくるほうが、その他の方法で新語をつくる場合よりはるかに容易であるということが、このタイプの多くの実例を生む要因になっていると考えられる。⁽⁹⁾

具体例としては次のようなものがある。

- 4.25 Mr Clinton must fight to the end here, but Mr Dole might instead be wiser to spend his time and (limited) money on the mid-west.
(*The Economist*, June 15, 1996) (p.29)

<20> prefix+abbreviation

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.26 The plan to merge the co-ops will bring them more firmly under central bank supervision and control.
(*Asian Business Review*, August, 1995) (p.56)

<21> prefix+gerund

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

4.27 Hostility to Dole among hard-core conservatives erupted again last week after the Senate leader urged re-opening the government.

(*U.S. News & World Report*, January 15, 1996) (p.30)

<22> gerund+noun

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

4.28 In the governor's drawing-room on Minorca on April 1, 1800, Jack Aubrey, big, blond, extrovert and English, gets a dig in the ribs from Stephen Maturin, small, sardonic, Catholic, half-Irish and half-Catalan.

(*The Bulletin*, May 3, 1994) (p.88)

<23> numeral+numeral

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

4.29 One-third of women over the age of 60 said they felt “very unsafe” walking alone after dark in an Australian Institute of Criminology survey on perceptions of safety, although they are hardly ever attacked.

(*The Bulletin*, May 3, 1994) (p.29)

<24> auxiliary+past participle

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

4.30 He has been called a corporate has-been, but the future looks bright for Sir Ronald Brierley. (*The Bulletin*, May 3, 1994) (p.67)

<25> present participle+noun

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.31 The turning-point in the primary campaign came when Mr North endorsed Mr Warner's rival, James Miller, Ronald Reagan's second budget director.

(*The Economist*, June 15, 1996) (p.37)

<26> past participle+adverb

このタイプの実例は少ない。

具体例としては次のようなものがある。

- 4.32 And by acting like a grown-up, Dole blunts the president's claim that the only thing standing in the way of GOP extremism is Bill Clinton.

(*U.S. News & World Report*, January 15, 1996) (p.39)

Notes

- (1) M. Steinmann & M. Keller, *Grammar without Grief* (NTC Publishing Group, 1997) 162.
- (2) J. A. Haslem, Jr. ed. *Webster's New World Pocket Style Guide* (Macmillan, 1997) 143.
しかし残念ながらこのタイプの実例はsourceから発見できなかった。
- (3) M. Shertzer, *The Elements of Grammar* (Collier Books, 1986) 109.
- (4) R. L. Trask, *The Penguin Guide to Punctuation* (Penguin Books, 1997) 61.
- (5) S. Chalker, *The Little Oxford Dictionary of English Grammar* (Oxford University Press, 1998) 108.
- (6) ここでいうsourceとは、「Hyphen説明に向けて (I)」で言及したhyphen付き複合語実例4000のことで、今後sourceという場合これを指すので、その都度一々断りを入れるということはない。
- (7) これ以降、「Hyphen説明にむけて (III), (IV)」においてもhyphen付き複合語を同じ方法で分析するので、煩雑を避けるべく、分析方法についてその都度解説を加えるようなことはしない。
- (8) これ以降、実例数の多・少について述べる場合は、複合名詞の全実例数に対して占める割合を基に判断する。
- (9) Cf. D.Crystal, *The English Language* (Penguin Books, 1988) 39.

References

- Augarde T. *Oxford Word Challenge*. Oxford University Press, 1998.
Blamires H. *The Penguin Guide to Plain English*. Penguin Books, 2000.

Hyphen解明にむけて (II)

- Bryson B. *Mother Tongue*. Penguin Books, 1990.
- Chambers Guide to Effective Grammar*. Chambers, 1999.
- The Chicago Manual of Style*. 14th ed. The University of Chicago Press, 1993.
- Collins COBUILD English Grammar*. Collins, 1990.
- Collins COBUILD English Guides: 2 Word Formation*. HarperCollins, 1991.
- Collins COBUILD English Usage*. HarperCollins, 1992.
- Fergusson R. and Manser M.H. *The Macmillan Guide to English Grammar*. Macmillan, 1998.
- Gibaldi J. *MLA Handbook for Writers of Research Papers*. 5th ed. The Modern Language Association of America, 1999.
- Greenbaum S., and Quirk R. *A Student's Grammar of the English Language*. Longman, 1990.
- Greenbaum S. *The Oxford English Grammar*. Oxford University Press, 1996.
- Hicks W. *English for Journalists*. 2nd ed. Routledge, 1993.
- Huddleston R. *English Grammar: an outline*. Cambridge University Press, 1988.
- Jackson H., and Amvela Z.E. *Words, Meaning and Vocabulary*. Cassell, 2000.
- Jarvie G. *Grammar Guide*. Bloomsbury, 1993.
- King G., *Collins Wordpower Good Grammar*, HarperCollinsPublishers, 2000.
- King G., *Collins Wordpower Good Writing*, HarperCollinsPublishers, 2000.
- Leech G. *An A-Z of English Grammar and Usage*. Nelson, 1989.
- Leech G. *Introducing English Grammar*. Penguin English, 1992.
- Matthews P. H. *Oxford Concise Dictionary of Linguistics*. Oxford University Press, 1997.
- The Princeton Language Institute. ed. *21st Century Grammar Handbook*. Laurel, 1993.
- Reah D. *The Language of Newspapers*. Routledge, 1998.
- Random House Webster's Power Vocabulary Builder*, Ballantine Books, 1996
- Swan M. *Basic English Usage*. Oxford University Press, 1984.
- Swan M. *Practical English Usage*. 2nd ed. Oxford University Press, 1995.
- Waterhouse K. *English Our English*. Penguin Books, 1994